

## 大陸大型ネコ科動物揃い踏み 新猛獣舎「がおーこく」がオープン

7月23日、かみね動物園の新猛獣舎完成記念式典を行い、新猛獣舎の名称が「がおーこく」であることを披露しました。式典後、オープンした「がおーこく」を観覧した来場者たちは、ライオンやトラ、新たに加わったジャガーの生き生きとした姿を見て、目を輝かせていました。



## 料理本のアカデミー賞「世界料理本大賞」 市内出身の宮澤孝子さんが2位を受賞

市内を拠点に薬膳料理教室や農場レストランなどを経営している宮澤孝子さんの著書「思い出の料理と綴る自分史『母が紡ぐ和の薬膳』」が、料理本のアカデミー賞と称される「グルマン世界料理本大賞」の自然食部門で2位を受賞しました。自身の半生と料理のレシピを記した同書籍の受賞を受け、宮澤さんは「茨城の家庭料理を代々継承していくことが、SDGsへつながることを確認できた」と喜びました。

## 今年も全国ナンバー1 鶺鴒の岬が利用率33年連続1位

茨城県立国民宿舎鶺鴒の岬が、全国の公営国民宿舎の令和3年度宿泊利用率で、33年連続の1位（宿泊利用率62.5%）となりました。鶺鴒の岬の鈴木省次支配人は、「県内の旅行代金を割り引きする「いば旅あんしん割」やSNSなどでのPRにより、県内にとどまらず県外からも利用してもらえたことが大きかった」と話しました。



ウミウ捕獲場一般公開の詳細については、日立市観光物産協会のHPから確認できます。

## 日本で見られるのはここだけ ウミウ捕獲場を一般公開中

鶺鴒の岬にあるウミウ捕獲場が、9月30日まで一般公開されています。期間中は断崖絶壁にあるウミウを捕獲するための鳥屋の見学や、捕獲者から捕獲方法などの貴重な話を聞くことができます。国内唯一のウミウ供給地であり、ここで捕獲したウミウは全国11か所の鶺鴒飼地で活躍しています。ここでしか見られない捕獲場の様子を、この機会にぜひご覧ください。

## 行政相談員の小野勝久さん 内閣総理大臣感謝状を授与される

7月19日、行政に対する相談の解決などを行う行政相談委員として30年以上にわたって活動している小野勝久さんが、内閣総理大臣感謝状を授与されたことを、小川市長に報告しました。小野さんは、平成4年に行政相談委員に委嘱され、市民から寄せられる行政に関する相談業務のほか、コミュニティとの情報交換会や、高校生を対象とした出前講座の開催などにも取り組まれ、現在は、全国行政相談委員連合協議会の会長を務めています。



## 高校生の熱き挑戦 およそ70人がインターハイなどに出場

7月19日、インターハイに出場する市内の高校生たちが市役所を訪問しました。今年度のインターハイや全国高校定時制通信制体育大会には、市内の高校などから、個人・団体の競技を合わせて、およそ70人が出場します。この日は代表の5人が、小川市長に大会に向けての意気込みなどを語りました。インターハイは、四国の各地で、7月下旬から8月にかけて行われています。



## 子育て支援の拠点施設 子どもセンターの利用者数が10万人に

子どもセンターは、18歳未満の子どもたちとその家庭に寄り添うために、平成27年に開設し、多くの親子が利用しています。7月1日、6月に利用者数が10万人に達したことを受け、記念セレモニーを行いました。記念すべき10万人目の利用者は、河野さん親子です。小川市長は河野さん親子に、記念メダルを手渡し、「これからもみなさんが楽しく交流ができる施設をめざしていきます」と話しました。



協力隊の皆さんの活動内容などは、県のHPから確認できます。

## 社会課題の解決を目指して 地域おこし協力隊が市役所を訪問

県は、首都圏などから県北地域に移り住み、地域の課題解決につながるビジネスなどに取り組む起業家を「起業型地域おこし協力隊」の隊員として委嘱し、支援しています。7月5日、日立市を拠点に活動する5人が市役所を訪れ、活動内容などについて小川市長に報告しました。報告を受けた小川市長は「それぞれがんばっていて、たくさんのパワーがあると感じ嬉しくなりました」と話しました。